

平成 22 年 3 月 25 日現在

研究種目：基盤研究（B）
研究期間：2007～2010
課題番号：19390147
研究課題名（和文）自己開発型医学教育の教育者育成システム開発と評価
研究課題名（英文）Innovation of self-learning system for educational competency
in medical education

研究代表者

吉岡 俊正（YOSHIOKA TOSHIMASA）
東京女子医科大学・医学部・教授
研究者番号：60146438

研究代表者の専門分野：医歯薬学

科研費の分科・細目：境界医学・医療社会学

キーワード：マイクロティーチング、教育能力開発、チーム・ベースト・ラーニング、
臨床推論、ダイダクティック、教育能力、ケース・スタディー法

1. 研究計画の概要

本研究は医師教育として不可欠な学習者の能動学習を促進する教育能力開発のための教員教育方法を作り検証することを目的としている。研究全体の目標としてダイダクティック（伝授型）授業の中で学習者主導型教育を行う教員教育法としてマイクロティーチングシステムの開発検証そして実践法の確立、問題基盤型学習教育のための教員教育法の開発検証、そして能動学習促進教育の教員教育能力評価法の開発と有効性の検証を行う。

2. 研究の進捗状況

学習者が能動的に参加する双方向性授業を行うための、教育能力開発法としてマイクロティーチング法を開発し、検証し、組織的に行う実施法を完成させた。既に 20 回以上の実証検討を行い、医学教育の中でマイクロティーチングを行う方法を確立した。この実施方法の中には、初等教育等で行われている一般的方法だけでなく、教育者としての訓練を受けていない医学教育者が簡易に行える実施法を新たに開発した。これらの結果を、平成 22 年度には出版する。

問題基盤型学習教育法としてのテュートリアル教育については実施法と教育評価を行った。少人数の学生にテュータと呼ぶ教員が参加して、学生自身が問題解決を行う教育法を、国外で一般的な大卒者対象（修士課程相当）ではなく、高卒者対象の医学部教育で

長期間にわたり行なう有効性を明らかにした。理想的に行う日本式（東京女子医科大学方式）をまとめ、「新版テュートリアル教育」として出版した。さらに、新たな問題解決型教育としてチームベースラーニング（TBL）の開発を行い、6 回の実証検討を行った。教育効果の評価を行い、テュートリアル教育と複合させた TBL を新たな教育方法として定式化し、実施手順書を作成した。TBL はテュートリアルよりも教員に依存する教育法であることが明らかになり、今後教育能力開発のためのプロトコールを作成する。

教育評価の評価項目を定め・オンライン評価システムを構築した。また、学生からの授業評価を被評価者が直ちに教育向上に用いることができる自己評価に用いることのできる評価表を開発した。

3. 現在までの達成度

おおむね順調に進展している

（理由）

三つの研究目標のうち、講義（授業）能力開発については開発検証が済み、成文化を残すのみである。問題基盤型教育についても教育方、教員教育能力開発法については開発検証が終わり、一部は既に出版され、残りは成文化を残すのみである。教育評価については方法、システムの開発は終了したが、検証が行われていない。

4. 今後の研究の推進方策

医学教育において講義形式の教育は多く用いられているが、本研究ではその教育能力を高める方法としてマイクロティーチングの実施法を開発検証した。今後その方法をまとめ解説書として発行する。医師の教育には問題解決能力を高める教育も必要であり、そのためにテュートリアル・TBLなどが行われる。テュートリアルについては本研究の目的は最新の教育法を出版したことにより修了しているが、TBLはさらに教育方法、教員の教育能力開発方法を明確にするための調査分析を行い、研究期間終了までに方法を文書(手順書)として完成させる。教育評価と授業評価については、実践検証を行い今回開発した評価法の有用性を評価する。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計3件)

鈴木 康之, 吉岡 俊正, 吉田 素文, 田川 まさみ, 錦織 宏, 西城 卓也, 守屋 利佳, 大谷 尚, 渡邊 洋子, 次世代の医学教育者の育成に向けて: 医学・医療教育学の専門家養成に関するニーズ調査結果, 医学教育, 40巻第4号, 237-241, 2009, 査読有
Ishihara S, Matsui K, Sato Y, Tang AC, Suganuma T, Fukui Y, Yamaguchi N, Kawakami Y, Yoshioka T., Self-efficacy achieved through problem-based learning tutorial., 医学教育, 38巻, 391-397, 2007, 査読有

〔学会発表〕(計3件)

吉岡 俊正, 教育講演「医学教育におけるPBLテュートリアル教育の現状と課題」, 日本リハビリテーション学校協会第22回教育研究大会・研修会, 2009.8.19, 大田原

〔図書〕(計4件)

東京女子医科大学医学部テュートリアル委員会, 篠原出版新社, 新版テュートリアル教育 - 新たな創造と実践, 2009年, 397ページ

日本医学教育学会FD小委員会(編集委員: 吉岡俊正), 篠原出版新社, 医療プロフェッショナル: ワークショップガイド, 2008年, 103ページ